

平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成16年7月28日

会社名 株式会社 日 伝
(URL <http://www.nichiden.com>)

(コード番号：9902 登録銘柄)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 西 木 利 彦
責任者役職・氏名 常務取締役総務本部長 西 木 利 博 (Tel:(06)6746-5700)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項
 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

(1) 経営成績の進捗状況 (単位：百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	20,318	(22.1)	1,022	(37.2)	1,135	(37.6)	607	(41.9)
16年3月期第1四半期	16,637	(16.3)	745	(95.3)	825	(64.9)	428	(56.8)
(参考)16年3月期	71,577	(13.8)	3,179	(30.3)	3,492	(25.5)	1,895	(33.9)

	1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第1四半期	40	69	—	—
16年3月期第1四半期	26	88	—	—
(参考)16年3月期	117	22	—	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期に対する増減率であります。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済の状況は、7月13日に発表されました政府の月例経済報告にも表現されましたとおり、世界的な原油・素材価格の高騰、金利の引き締め懸念はあるものの、輸出・設備投資の増加、個人消費の持ち直しにより堅調に回復しております。

当社を取り巻く機械器具関連業界におきましては、企業収益の回復に伴い設備投資が増加してきており、特に液晶、デジタル家電、半導体関連は活況を呈しております。一方素材価格の高騰により製品価格にも上昇圧力のある中で、ユーザからのコストダウン要請は強く、利益確保、商品確保が厳しさを増してきております。

このような状況におきまして、当社は「日伝の成長基盤を確立するための第2ステージの2年目、更なる検証と実行の年」と位置付け企業の持つ経営資源の強みを生かし、優位特性を持ったビジネスモデルの創造、開発に取り組み、良質のミニオンリーワンを多く持つことによりナンバーワンを目指しております。

この結果、当第1四半期の売上高は、20,318百万円（前年同期比22.1%増）、営業利益1,022百万円（前年同期比37.2%増）、経常利益1,135百万円（前年同期比37.6%増）、四半期純利益607百万円（前年同期比41.9%増）と大幅な増収増益となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%		円 銭	
17年3月期第1四半期	50,054		37,454		74.8		2,507	55
16年3月期第1四半期	47,508		37,177		78.3		2,333	35
(参考)16年3月期	50,996		37,264		73.1		2,491	68

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
17年3月期第1四半期	924		456		413		10,755	
16年3月期第1四半期	760		217		304		12,043	
(参考)16年3月期	1,689		1,299		2,072		11,638	

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

財政状態の変動状況

資産合計は、50,054百万円（前年同期比5.4%増）となりました。これは売上高の増加による受取手形及び売掛金の増加が主な要因となっております。

負債合計は、12,599百万円（前年同期比22.0%増）となりました。これは仕入高の増加により支払手形及び買掛金の増加したことと、純利益の増加により未払法人税等の増加したことが主な要因となっております。

資本合計は37,454百万円（前年同期比0.7%増）となりました。これは自己株式取得による資本の減少幅を利益剰余金の増加が若干上回ったことが主な要因となっております。

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前会計年度末に比べ883百万円減少し、10,755百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは924百万円の減少となりました。これは主に税引前四半期純利益が1,075百万円となったものの、売上債権の増加446百万円、たな卸資産の増加337百万円、法人税等の支払額937百万円があったことによる減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当四半期における投資活動によるキャッシュ・フローは456百万円の増加となりました。これは主に遊休不動産（旧近畿物流センター）の売却410百万円による増加であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当四半期における財務活動によるキャッシュ・フローは413百万円の減少となりました。これは主に配当金の支払額411百万円による減少であります。

3. 平成17年3月期の業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

最近の業績の動向を踏まえ、平成16年5月11日の決算発表時に公表いたしました平成17年3月期（平成16年4月1日～平成17年3月31日）の業績予想を次の通り修正いたします。

（1）平成17年3月期中間業績予想の修正（平成16年4月1日～平成16年9月30日）

	売上高	経常利益	中間純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	38,000	1,880	980
今回修正予想(B)	40,300	2,130	1,210
増減額(B - A)	2,300	250	230
増減率(%)	6.1%	13.3%	23.5%
前期実績(平成16年3月期中間期)	33,580	1,577	839

（参考）1株当たり予想中間純利益 81円 01銭

（2）平成17年3月期通期業績予想の修正（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	75,000	3,630	2,000
今回修正予想(B)	81,000	4,350	2,480
増減額(B - A)	6,000	720	480
増減率(%)	8.0%	19.8%	24.0%
前期実績(平成16年3月期)	71,577	3,492	1,895

（参考）1株当たり予想当期純利益 166円 03銭

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当社の当四半期の売上高は、9四半期連続で前四半期を上回り順調に推移しております。上・下期におきましても、企業収益の回復に伴い設備投資の更新需要は旺盛と思われれます。その中で当社は、営業支援ツールの拡充による他社との差別化、物流機能の強化による納期管理の徹底、電気電子制御商品の開拓、加工センターの設置を通じて積極的な営業展開を図っております。その結果、前回決算発表予想よりも売上高は増加する予定であります。経常利益、当期純利益につきましてもユーザのコスト削減要求が厳しく利益確保が困難ではありますが、売上高の増加・業務効率化による経費削減により前回決算発表予想を上回る見込みであります。

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

期 別 科 目	当四半期 〔平成17年3月期〕 第1四半期末		前年同四半期 〔平成16年3月期〕 第1四半期末		増 減		(参 考) 平成16年3月期
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額
(資産の部)	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円
流動資産	37,009	73.9	35,424	74.6	1,584	4.5	37,420
現金及び預金	10,856		12,043		1,186		11,638
受取手形・売掛金	22,310		19,966		2,344		21,879
商 品	3,594		2,977		616		3,256
そ の 他	247		436		189		645
固定資産	13,044	26.1	12,084	25.4	960	7.9	13,575
有形固定資産	6,936	13.9	8,089	17.0	1,152	14.3	7,480
無形固定資産	317	0.6	291	0.6	26	9.2	320
投資その他の資産	5,790	11.6	3,704	7.8	2,086	56.3	5,775
資産合計	50,054	100.0	47,508	100.0	2,545	5.4	50,996
(負債の部)							
流動負債	11,350	22.7	9,392	19.7	1,958	20.9	12,516
支払手形・買掛金	10,102		8,539		1,562		10,382
そ の 他	1,248		852		396		2,133
固定負債	1,249	2.5	938	2.0	310	33.0	1,215
負債合計	12,599	25.2	10,331	21.7	2,268	22.0	13,731
(資本の部)							
資 本 金	5,368	10.7	5,368	11.3	-	-	5,368
資本剰余金	6,283	12.5	6,283	13.2	-	-	6,283
利益剰余金	26,761	53.5	25,179	53.0	1,581	6.3	26,646
その他有価証券評価差額金	810	1.6	360	0.8	450	124.9	733
自 己 株 式	1,768	3.5	13	0.0	1,755	13,266.0	1,766
資本合計	37,454	74.8	37,177	78.3	279	0.7	37,264
負債・資本合計	50,054	100.0	47,508	100.0	2,545	5.4	50,996

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

期 別 科 目	当四半期 〔平成17年3月期〕 第1四半期		前年同四半期 〔平成16年3月期〕 第1四半期		増 減		(参 考) 平成16年3月期
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円
売 上 高	20,318	100.0	16,637	100.0	3,680	22.1	71,577
売 上 原 価	17,420	85.7	14,217	85.5	3,203	22.5	61,330
【 売 上 総 利 益 】	2,897	14.3	2,419	14.5	477	19.7	10,246
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,875	9.2	1,674	10.1	200	12.0	7,066
【 営 業 利 益 】	1,022	5.0	745	4.5	277	37.2	3,179
営 業 外 収 益	148	0.7	108	0.7	40	36.8	442
営 業 外 費 用	35	0.2	28	0.2	7	24.7	130
【 経 常 利 益 】	1,135	5.6	825	5.0	309	37.6	3,492
特 別 利 益	0	0.0	17	0.1	16	97.4	36
特 別 損 失	60	0.3	12	0.1	47	365.0	130
【 税引前四半期(当期)純利益 】	1,075	5.3	829	5.0	245	29.6	3,397
【 法人税、住民税及び事業税 】	305	1.5	280	1.7	25	8.9	1,633
【 法 人 税 等 調 整 額 】	162	0.8	121	0.7	41	34.1	130
【 四半期(当期)当期純利益 】	607	3.0	428	2.6	179	41.9	1,895

3. (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

期 別 科 目	当四半期 〔平成17年3月期〕 第1四半期	前年同四半期 〔平成16年3月期〕 第1四半期	(参 考) 平成16年3月期
	金 額 百万円	金 額 百万円	金 額 百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	1,075	829	3,397
減価償却費	85	91	373
売上債権の増加額()又は減少額	446	519	2,181
たな卸資産の増加額()又は減少額	337	74	353
仕入債務の増加額又は減少額()	162	48	1,658
その他	225	125	327
小計	10	154	3,222
利息及び配当金の受取額	23	14	33
法人税等の支払額	937	929	1,566
営業活動によるキャッシュ・フロー	924	760	1,689
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	12	455	532
有形固定資産の売却による収入	410	-	367
投資有価証券の取得による支出	4	55	75
投資有価証券の売却による収入	200	292	541
その他	137	1	1,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	456	217	1,299
財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式の取得による支出	2	1	1,754
配当金の支払額	411	303	318
財務活動によるキャッシュ・フロー	413	304	2,072
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0	4
現金及び現金同等物の増加額又は減少額()	883	1,282	1,687
現金及び現金同等物の期首残高	11,638	13,325	13,325
現金及び現金同等物の期末残高	10,755	12,043	11,638

4. 営業収益の状況

(単位：百万円未満切捨て)

期 別 品目別	当四半期 〔平成17年3月期 第1四半期〕		前年同四半期 〔平成16年3月期 第1四半期〕		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
動力伝導機器	9,237	45.5	7,727	46.4	1,509	19.5
産業機器	4,386	21.6	3,632	21.8	754	20.8
制御機器	6,694	32.9	5,277	31.7	1,417	26.9
合 計	20,318	100.0	16,637	100.0	3,680	22.1

(品目別状況)

動力伝導機器

当社の最も得意としている分野であります。特に軸受けの中でもベアリング、直動機器が好調に推移し、当第1四半期の売上高は9,237百万円(前年同期比19.5%増)となりました。

産業機器

設備投資の抑制で過去低迷していた分野ではあります。マテハン、システム関連に動きが見られ、当第1四半期の売上高は4,386百万円(前年同期比20.8%増)となりました。

制御機器

当社が今後最も注力していく分野であり、取扱い商品も順調に増えており、中でもシーケンスコントローラ、センサの売上高が大きく伸び、当第1四半期の売上高は6,694百万円(前年同期比26.9%増)となりました。

(ご参考)

1. 前年度四半期の業績推移

(単位：百万円未満切捨て)

期別 科目	前年度 第1四半期	前年度 第2四半期	前年度 第3四半期	前年度 第4四半期	前年度1/4
	(平成15年4月1日 平成15年6月30日)	(平成15年7月1日 平成15年9月30日)	(平成15年10月1日 平成15年12月31日)	(平成16年1月1日 平成16年3月31日)	(平成15年4月1日 平成16年3月31日)
	金額	金額	金額	金額	金額
売上高	16,637	16,942	18,358	19,638	17,894
売上原価	14,217	14,539	15,766	16,807	15,332
【売上総利益】	2,419	2,402	2,591	2,831	2,561
販売費及び一般管理費	1,674	1,753	1,669	1,969	1,766
【営業利益】	745	649	922	862	794
営業外収益	108	133	97	102	110
営業外費用	28	31	34	35	32
【経常利益】	825	751	985	929	873
特別利益	17	29	3	7	9
特別損失	12	33	81	3	32
【税引前四半期純利益】	829	748	900	918	849
【法人税、住民税及び事業税】	280	483	307	563	408
【法人税等調整額】	121	145	86	192	32
【四半期純利益】	428	411	507	548	473

2. 前々年度四半期の業績推移

(単位：百万円未満切捨て)

期別 科目	前々年度 第1四半期	前々年度 第2四半期	前々年度 第3四半期	前々年度 第4四半期	前々年度1/4
	(平成14年4月1日 平成14年6月30日)	(平成14年7月1日 平成14年9月30日)	(平成14年10月1日 平成14年12月31日)	(平成15年1月1日 平成15年3月31日)	(平成14年4月1日 平成15年3月31日)
	金額	金額	金額	金額	金額
売上高	14,300	15,916	16,284	16,391	15,723
売上原価	12,258	13,643	14,025	14,042	13,492
【売上総利益】	2,041	2,273	2,259	2,348	2,230
販売費及び一般管理費	1,660	1,504	1,646	1,671	1,620
【営業利益】	381	768	612	677	610
営業外収益	141	103	101	89	109
営業外費用	22	21	23	25	23
【経常利益】	500	850	690	740	695
特別利益	-	-	6	-	1
特別損失	0	23	302	54	67
【税引前四半期純利益】	500	826	394	795	629
【法人税、住民税及び事業税】	184	450	186	410	307
【法人税等調整額】	43	89	17	99	31
【四半期純利益】	273	466	190	485	353